

のまちづくり 工夫でよりよい町に

平成18年度
予算

一般会計予算額
51億2,583万円

住民1人当たり
607,327円
<17年度 569,712円>

平成18年度の一般会計、特別会計予算の総額は、86億3,387万円。自立可能なまちづくりのため、徹底した行財政改革、住民との協働による創意と工夫を凝らしたまちづくりが求められています。ここでは、最も身近な一般会計を中心にあらましを紹介します。

また、基金の取り崩しを六千七百万円増額しているほか、新たな財源対策として町有地などの財産売却収入を一千五百万円計上しています。今後も地方交付税の削減などが見込まれ、厳しい財政状況が続きます。

また、町道や畜産施設などの基盤整備の充実や高規格救急自動車を導入し、暮らしの安全・安心の確保に努めています。こうした要因により、前年度に比べ土木費が一九％、農林水産業費が一四％、消防費が一％の増となっています。

その他の科目については、職員給与や職員数の抑制、事務経費の節減、各種助成金の見直しなどにより、総じて減額となっています。

歳入

歳入の五割を超える地方交付税額は、二十七億四千万円で、前年度に比べ一億二千四百百万円、四％の減となっています。

このため、国や県の補助金などを合わせて三三％、町債（町の借入金）を二一％増としています。町債については、後年度の負担を抑えるために、起債額の七割から全額が地方交付税などで還元される有利な起債を活用しています。

また、基金の取り崩しを六千七百万円増額しているほか、新たな財源対策として町有地などの財産売却収入を一千五百万円計上しています。

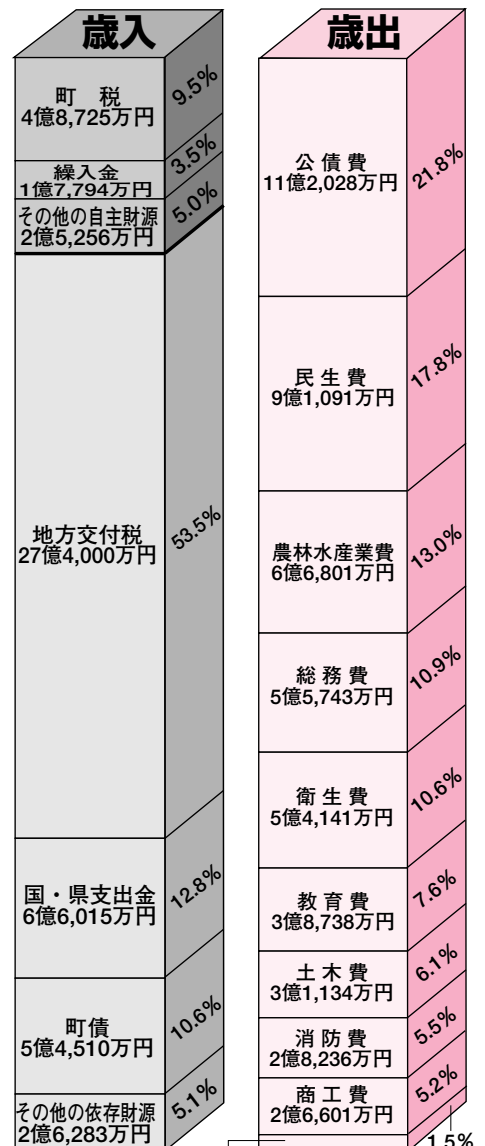
歳出

歳出では、前年度に比べて商工費が二億四千九百万円と大幅に増えています。これは、守山乳業（株）葛巻工場の拡張工事に伴う資金貸し付けなどによるものです。

また、町道や畜産施設などの基盤整備の充実や高規格救急自動車を導入し、暮らしの安全・安心の確保に努めています。こうした要因により、前年度に比べ土木費が一九％、農林水産業費が一四％、消防費が一％の増となっています。

自主財源（町が独自に集めているお金）

依存財源（国や県から配分されるお金や事業を行うための借金など）



その他の経費
8,070万円 (1.5%)
議会費 7,433万円 (1.4%)
労働費・災害復旧費・諸支出金・予備費 637万円 (0.1%)



18年度がスタート

86億円 創意と

18年度の主な新規事業

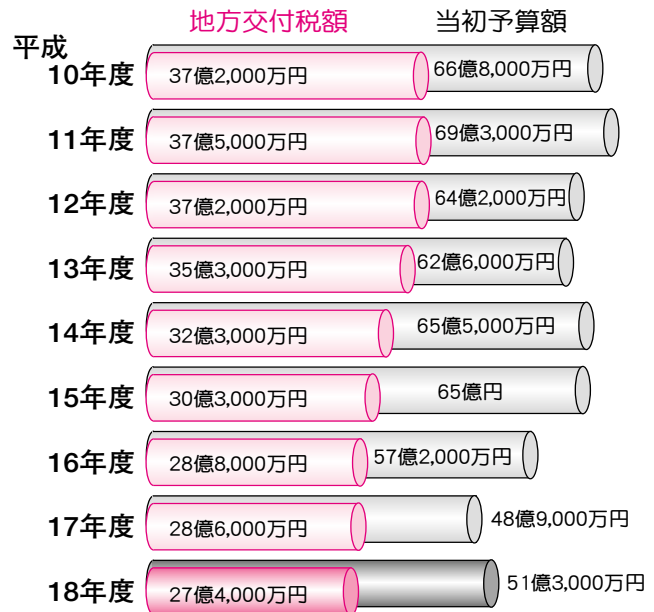
- 企業立地促進助成金・ふるさと融資貸付事業
〔守山乳業(株)へ〕 2億5,000万円
- 畜産担い手育成総合整備事業 1億3,473万円
- 高規格救急自動車整備事業 3,442万円
- 除雪用トラック整備事業(7トントラック1台) 2,083万円
- 児童手当支給対象者拡大事業(小学6年までの拡大分) 1,191万円
- 林野火災用防火水槽整備事業 635万円
- 地域包括支援センター運営費 540万円
- 準用河川土谷川廃川敷測量図作成業務 400万円
- 協働のまちづくり推進事業 120万円
- 堀の内住宅水洗化事業 80万円
- 国民保護計画策定事業 20万円

町の行財政に関する詳しい内容は、5月に全世帯へ配布する予算説明書に掲載します。

一般会計当初予算は、51億2,583万円で4年ぶりに前年度予算を2億3,144万円(4.7%)上回りました。

増額の主な要因は、守山乳業株式会社葛巻工場拡張工事に伴う「ふるさと融資貸付事業」などによる支援が挙げられます。この事業費を除くと、大幅な減額となった前年度と同規模の緊縮型予算となっています。

当初予算と地方交付税の推移



平成18年度会計別予算額

会 計 名	平成18年度	平成17年度	増 減	伸び率	
一 般 会 計	51億2,583万円	48億9,439万円	2億3,144万円	4.7%	
特 別 会 計	国民健康保険事業勘定	9億8,194万円	9億8,867万円	△ 673万円	△ 0.7%
	簡易水道事業	3億6,809万円	2億1,074万円	1億5,736万円	74.7%
	財 産 区	1,390万円	1,385万円	5万円	△ 0.4%
	老 人 保 健	10億6,838万円	10億1,108万円	5,730万円	5.7%
	農業集落排水事業	2億 226万円	2億1,023万円	△ 797万円	△ 3.8%
国民健康保険病院事業会計	8億7,347万円	9億1,158万円	△ 3,811万円	△ 4.2%	
合 計	86億3,387万円	82億4,054万円	3億9,333万円	4.8%	

(数値はすべて万円未満を四捨五入しています)